

小学5年生

「花のつくり」

教科書7ページにある「アブラナ」の写真を撮ってきました。名張は自然が豊かな街です。アブラナの他にもたくさんの花が咲いています。コロナウイルスの影響で遠くへは出掛けることはできませんが、みんなも家の周りを見渡して自然を感じてみてはどうですか。



名張市の「なの花畑」(美旗町)

【なの花のつくり】



花びら (花弁) : 昆虫が集まりやすいように鮮やかな色が多い。

おしべ : 先に花粉がついている。

めしべ : 先に花粉がつきやすいようにネバネバしている。

がく : 花びらを支えている。

【雑学コーナー】

◎アブラナと菜の花の違いは何だ！

アブラナは、その種子から食用の「なたね油」をとるための種類で、日本では昔から春の畑にたくさん咲いていました。また、菜の花は、「アブラナ科」の植物の花全体をさします。アブラナ科には、アブラナはもちろんのこと、「ダイコン」「ハクサイ」「ナバナ」等があげられます。



(ダイコンの花)



(ハクサイ)



(ナバナ)

【名張市内で野の花を撮影してきました】



(タンポポ)



(シロツメクサ)



(ツツジ)



(スイバ)



(フジ)



(オニノゲシ)

◎このほかにも、たくさんの野草が見られます。これから、夏にかけて観察するにはとても適した季節になります。みなさんも家から少しだけ出て、野原に目をやってみましょう。